



2007年4月19日

各 位

大阪市淀川区西宮原1丁目7番31号
I D E C 株式会社
代表者役職名 代表取締役会長兼社長
氏 名 船 木 俊 之
(コード番号 6652)
問合せ先
責任者役職名 常務執行役員経営管理担当
氏 名 土 谷 泰 三
T E L (06) 6398-2500

株式会社モリテックスに対する株主提案について

当社は、株式会社モリテックスの筆頭株主として、同社の第二順位の株主である同社創業者森戸祐幸氏と共同で、以下のとおり、株主提案を行いましたので、お知らせいたします。

記

1. 株主提案の目的および背景

当社と株式会社モリテックス（以下、モリテックスという）とは、2007年3月26日付で業務資本提携契約を締結し、以後、その具体的内容の協議を行ってまいりました。

当社としては、本業務提携協議に当たっては、次のような意思をもって、最大限の業務提携効果を上げるべく、協議に臨んでまいりました。

当社は、元来、ファクトリーオートメーション分野において「生産の自動化、合理化、省力化ならびに労働安全性の向上に関する提案を通じて、広く社会に貢献し、企業としての健全な成長を図る」ことを経営方針として、同分野の制御機器市場において一定の地位を確立しております。

そうした基盤のもと、当社は、今中期経営計画では、現状に甘んじることなく、既存事業の強化と新規事業領域の開拓および拡大により、将来の成長基盤構築を推進しており、特に、「トレーサビリティ新事業と制御技術との融合」「LED 応用製品分野での新事業開拓」「システムエンジニアリング事業の開拓」を重点テーマと位置付けております。中でも、画像処理装置・レーザーマーカ―・AUTO-ID 関連製品（バーコードリーダー、RFID）などと制御技術、システムとの組合せによるトレーサビリティ事業分野などを今後の最重点事業と位置付けており、LED 応用製品の開発も行っております。

一方、モリテックスは、その中核事業であるマシンビジョンシステム（レンズ・LED 照明・光ファイバ照明・カメラ周辺機器等で構成）という製品事業を、半導体製造装置・液晶製造装置・電子部品実装機業界を中心に事業展開しており、中でも、レンズと光ファイバ照明は、国内シェア約 35%で No.1、LED 照明は、同 10%で No.2 のポジションを確保しており、特に、光ファイバ技術は高く評価され、この分野での新たな要素技術の蓄積にも積極的であります。

以上のような両社の特色から、当社としては、商品開発・技術の共有化、販売・生産など全ての面において、強力な関係構築による協業効果は極めて高いと考えており、その実現のためには、資本関係、人的交流面においても、強固な関係構築が不可欠であると考えております。

こうした考えを踏まえ、当社としては、2007年3月26日の業務資本提携契約締結後、提携

内容を具体化するためにモリテックスとの協議を行い、その中で当社より、相互の情報開示・技術交流・人材交流等を円滑に推進する一環として、資本面での関係強化、即ち、当社がモリテックスの発行済株式総数の20%相当以上を取得し、モリテックスが当社の持分連結対象会社となることを柱とする業務提携協議を申し入れましたが、満足な回答が得られず、現在に至っております。

一方で、当社は、創業者でありモリテックスの第二順位株主である森戸祐幸氏と面談する機会を得、同氏より、モリテックスの経営の現状に憂慮していること、当社の支援のもと、モリテックスを再生し、両社にとって最大限の提携効果を発揮して貰いたいとの要請を受けるに至りました。

以上より、当社としては、森戸祐幸氏と共同で、2項記載事項を主旨とする株主提案を、モリテックスの第35期定時株主総会開催にあたり、同社に対し提案した次第であります。

2. 株主提案の主旨

- (1) 本年6月開催の株式会社モリテックスの第35期定時株主総会において、取締役8名選任の件を議題とし、その具体的議案として、当社が推薦する者4名、森戸祐幸氏が推薦する者4名の合計8名を、取締役候補者とする。
- (2) 本年6月開催の株式会社モリテックスの第35期定時株主総会において、監査役3名選任の件を議題とし、その具体的議案として、当社及び森戸祐幸氏が推薦する者3名を監査役候補者とする。

以 上